

神奈川ウォーキング参加日21-⑩

112回例会 **三ツ沢・反町と神奈川宿ウォーク**

- ・日時：平成22年2月7日（日）東神奈川駅集合9：45、出発10：00
- ・コース：東神奈川駅→金蔵院→熊野神社→高札場→成仏寺→宗興寺→神奈川の大井戸→慶運寺（浦島寺）→滝野川せせらぎ緑道→東横フラワー緑道→愛染地蔵→三ツ沢せせらぎ緑道→豊顕寺→豊顕寺市民の森→三ツ沢公園→三ツ沢貝塚（横浜翠嵐高）→三ツ沢公園→市民防災センター→神奈川宿歴史の道→横浜駅21,000歩、約13,5km。（24,000歩15,8km伊藤計測、自宅含む）
- ・参加人員：48名の大人、仲さん総リーダーの下3班に分けて行動。

・概要と所感（文面は野中さん資料・横浜市神奈川区「神奈川宿歴史の道」・パソコン等から引用させて戴きました）

好天に恵まれた日曜日の例会と平坦コースの為か48人と多数参加のウォーキングでした。コースも伝説と歴史を訪ね整備された緑道歩きは、準備された資料と野中さんのガイドも判り易く、最後に防災も学び素晴らしい例会でした。駅近くの公園で戸田さんのストレッチと仲リーダーのコース説明後3班に分けて歩く。流石に長い列。

①熊野神社と金蔵寺

平安時代に権現山にあったものを紀伊の熊野権現を招いたことから始まり、江戸時代金蔵寺の境内に移され、明治初めの神仏分離令で分離された。太陽の中に住む「ヤタカラス」は3本足の赤色の鳥で熊野神社のお使いとされている。ワールドサッカー日本代表チームのロゴマークにもなっている。銀杏の古木まどが残っております。



②高札場

幕府の法度や掟を庶民に徹底する為に各宿場の真ん中に設けられ神奈川警察署西側にあり、現在は神奈川地区センター前に復元されている。



③成仏寺と宗興寺

成仏寺はオランダの領事館として使われ、後にアメリカ人宣教師のヘボンの宿舎となる。ヘボン式ローマ字で知られるヘボンは宗興寺に診療所を開設し、日本近代医学の創始者で、明治学院大学の創始者でもある。境内の庭に「なみだ石」が有る。すぐ脇に「神奈川の大井戸」が有り、この水が増えると翌日は晴れになるという「お天気井戸」。



④滝の川

宗興寺から東に行くと滝の野川に出る。権現山から流れる水が滝となって落ちていたので滝の野川と呼ばれるようになったとの説あり。京急線をくぐり慶運寺に向かう。この滝の野川をはさんで江戸側が神奈川本陣（石井家）、西側に青木本陣（鈴木家）が置かれていたようです。

⑤慶運寺（浦島寺）

開港当時この寺はフランス領事館に充てられていた。竜宮から戻った太郎は知人が誰もいない寂しさから、丹波から武蔵に戻り、父母の墓があった子安に庵をつくりそこに住んだ。これが浦島丘にあった観福寿寺であるが、慶応年間に消失した為、浦島伝説に係わる記念物がこの寺にもたらされて浦島寺と呼ばれている。浦島太郎が竜宮城に行ったとき、乙姫様から戴いたという菩薩像などが伝わっているとのこと。



⑥滝の川せせらぎ緑道・東横フラワー緑道・三ツ沢せせらぎ緑道

浄化された下水処理水がせせらぎに使われ暗渠の路面には亀や青海波がデザインされている。又東横線が高架から地下に潜り、その上が素晴らしい遊歩道と公園になっている。珍しいブラシの木も植えられていた。



⑦宝王稲荷・愛染地蔵・延命地蔵

東横フラワー緑道から三ツ沢緑道に入ると、小高い所に宝王稲荷が有り、今日のウォーキングで初めて石段を登る。愛染地蔵と延命地蔵とともに三



ツ沢緑道脇にあり、その名に熟男熟女も願いをこめて頭を下げる。

⑧豊頭寺と豊頭寺市民の森

後北条氏の家臣で青木城主の多米元興が三沢に隠居したときに菩提寺として創建。江戸時代は壇林（寺院の学問所）として栄えた。昔のポンプ井戸で水を汲みお墓参り、墓の数も多く広い境内。その境内を市民の森として開放され、桜の名所。藤棚、紫陽花、紅葉等四季の花が楽しめる森です。ここで大山と綺麗な富士山を眺めながら昼食（12:05～12:45）をとる。



⑨三ツ沢公園

馬術練習場の傍を通り、三ツ沢公園に向かう。野外スポーツセンターで陸上・野球・サッカー・テニス等地元仲さんも良く駆け出されて利用されたとのこと。この陸上競技場を小作さんの経験から坂道を下る時計回りに1周(約900m)サービスウォーキング。希望者だけと言って出発すると、全員参加。やはりウォーキングクラブ会員はお強い。平沼亮三元横浜市長銅像(1879~1959)慶応義塾の福沢諭吉門下生で野球部4番打者。東京6大学・全日本体育・陸上競技等各連盟会長。衆議院・貴族院・横浜市長・横浜商工会議所会頭等要職に就く。昭和7年ロサンゼルス、11年ベルリンオリンピック選手団長。記念銅像は昭和30年第10回国民体育大会秋季大会開会式の聖火最終ランナー姿は力強い(当時76歳)。



⑩三ツ沢貝塚跡

県立横浜翠嵐高校の脇にある。沢渡・三ツ沢東町・三ツ沢南町にかけて存在した縄文時代貝塚。石碑と看板のみ。

⑪市民防災センター

三ツ沢公園前交差点陸橋を長い行列で渡り、防災センターに向かう。案内のビデオを見て、震度6程度の地震体験や火災時の暗闇歩行脱出訓練を受ける。主婦熟女連真剣そのもの。大変良い企画であったと思います。人数が多く、交代で訓練を受ける為ここで1時間弱すごし15時頃までおりました。



⑫旧東海道・神奈川宿歴史の道

上台橋から「神奈川宿歴史の道」が始まる。1862年の生麦事件後幕府は主要拠点に関所を設けその一つが「神奈川台の関門」。坂道の上にあり、この坂を越えて下ると台町の宿場茶屋街。昔おりょうさんが勤めていたと



言う「さくらや」は現在料亭「田中家」。弥次・喜多道中膝栗毛に「爰は片側に茶店軒を並べ、いずれも座敷二階造り、欄干つきの廊下^{かけはし}棧^{かき}などわたして、浪うちぎはの景色いたってよし」とある。「おやすみなさいやーせ」と茶店女から声がかかり「鱈の塩焼きに一杯ひっかけ」た後、気ままな旅、今もやってみたいものです。我々のウォーキングも東横線跡地の広場での戸田さんストレッチで無事終了しました。リーダー仲さん、解説の野中さん、そして総勢48人の皆さん有難うございました。

